

補助事業番号：26-1-010

補助事業名：平成26年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業

補助事業者名：公益財団法人日本自転車競技連盟

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

当連盟は、当連盟に加盟する地方車連等が主催する自転車競技大会の開催を支援し、役員の派遣による大会運営の協力も行っている。

さらに当連盟が公式な大会として認めるこれらの各大会において、選手が日本記録もしくは日本国際記録または世界記録を樹立した際、日本記録及び日本国際記録については当連盟がこれを公式記録として認定し、世界記録についてはUCIに公認を申請する。

また、以上の各競技を実施する前提となる競技規則を制定し、これを競技規則集として公表している。

本事業は、当連盟の加盟団体の一つである日本プロフェッショナルサイクリスト協会が同協会の会員が出場する大会を開催し、または国際大会出場の際に同協会のスタッフ、コーチらが帯同し、サポートを実施している。

本事業における活動は以下のとおりである。

### (2) 実施内容

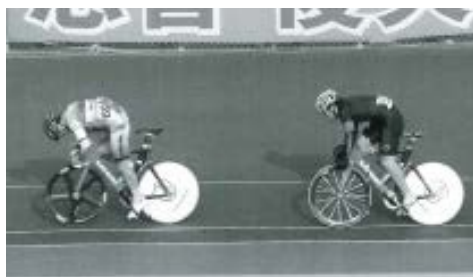
#### ① 日本プロフェッショナルサイクリスト協会全プロ大会事業等の実施

##### ア. [第61回全日本プロ選手権自転車競技大会トラック・レース](#)

(平成26年5月19日、茨城・取手競輪場)



ケイリン



スプリント



ケイリン表彰

左から浅井康太(2位)、南 修二(1位)、  
稲川 尊(3位)

[・スケジュール](#)

[・全コミュニケ](#)



1 kmタイムトライアル



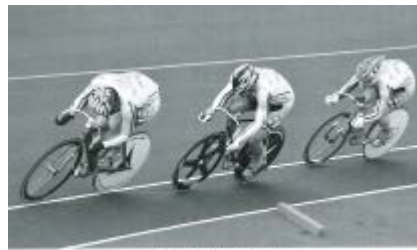
1 km TT表彰  
左から水井清史(2位)、竹内雄作(1位)、  
榎毛健太(3位)



4 km個人パーシュート



4 km個人パーシュート表彰  
左から北津苗実(2位)、真崎 登(1位)、  
大塚健可(3位)



チームスプリント



チームスプリント表彰  
優勝した四国地区チーム  
池田嘉昭、橋本 強、戸田康平



4 kmチームパーシュート



4 kmチームパーシュート表彰  
優勝した近畿地区チーム  
渡辺航平、角令央奈、伊原克彦、基本雄太



エリミネーションレース



エリミネーションレース表彰  
左から榎本拓哉(2位)、竹山駿太(1位)、  
萩原 操(3位)



アサレアカップ



アサレアカップ表彰  
左から三輪唯乃(2位)、石井寛子(1位)、森 美紀(3位)

## イ. 第 61 回全日本プロ選手権自転車競技大会 BMX

(平成 26 年 10 月 4 日、静岡・日本サイクルスポーツセンター)



### ●BMX

- 1 位 古性 優作 大阪
- 2 位 山本 巨樹 大阪
- 3 位 滝川 秀嗣 愛知
- 4 位 齋藤 和伸 埼玉
- 5 位 梅澤 謙芝 三重
- 6 位 木本 賢二 大阪

[・ 出場選手一覧](#)

## ウ. 地区プロ

- 第 41 回北日本地区 11/5 福 島・いわき平競輪場 (男子 58 名)
- 第 41 回関 東地区 11/5 東 京・京王閣競輪場 (男子 143 名・女子 7 名)
- 第 41 回南関東地区 10/7 神奈川・平塚競輪場 (男子 98 名)
- 第 42 回中 部地区 11/5 岐 阜・大垣競輪場 (男子 83 名)
- 第 37 回近 畿地区 10/7 福 井・福井競輪場 (男子 82 名)
- 第 41 回中 国地区 11/5 岡 山・玉野競輪場 (男子 58 名)
- 第 41 回四 国地区 11/5 愛 媛・松山競輪場 (男子 59 名)
- 第 41 回九 州地区 11/5 福 岡・小倉競輪場 (男子 103 名)

## エ. 選手強化事業

平成26年4月19日～4月20日 全日本自転車競技選手権大会トラック・レース (福島 泉崎国際サイクルスタジアム)

## オ. 国際競技大会事業

平成26年12月5日～12月7日 UCIワールドカップ第2戦（イギリス・ロンドン）コーチ1名派遣

平成26年2月18日～22日 2015トラック世界選手権大会（フランス・パリ）コーチ1名派遣

## 2. 予想される事業実施効果

競輪選手を中心に特にトラック競技への参加を促すことにより、競技全体のレベルアップを図る。特に全日本プロ選手権自転車競技大会トラック・レースは日本で唯一プロ競技者のみが参加する大会であり、出場選手から強化指定選手、日本代表選手として活躍する選手の輩出が大いに期待されると思料する。

また、世界的に競技力が向上する状況にあって、わが国の競技者の技術力の向上はもとよりメンタルケアについても重要度が増してきており、国内大会及び国際大会に競技者を支援するスタッフ等を派遣することにより、選手が競技に集中するための環境を整えることが重要であり、上位の成績を取るために有用であると思料する。

## 3. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：公益財団法人日本自転車競技連盟

（コウエキザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ）

住 所：141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

代表者名：会長 石崎聖子（イシザキセイコ）

担当部署：総務部

担当者名：総務部長 菊田 聡

電話番号：03-6277-2690

FAX 番号：03-6277-2691

URL：<http://jcf.or.jp/>